

患話休題

かんわきゅうだい

32



院長
真崎 雅和

スギ花粉症の新しい治療法

今年の1月に新しいスギ花粉症の治療薬が承認されました。

現在、スギ花粉症の薬物治療は大きく2つに分類されます。1つは現在主流となっている抗アレルギー剤により症状を緩和する治療方法で、もう1つはアレルゲン免疫療法(減感作療法とも呼ばれています)です。アレルゲン免疫療法は、アレルゲン(アレギーの原因物質)であるスギ花粉のエキスを、少量から徐々に増やしながら投与して体を慣らし、アレルギー反応を起こさないよう根本的に体質を改善する治療方法です。アレルゲン免疫療法では、症状の軽減、内服薬の減量、喘息など他のアレルギー性疾患の予防効果があり、治療後もある程度の期間は効果が持続します。

一見、根治が期待できるアレルゲン免疫療法の方が望ましいように思われますが、あまり行われてこなかったのにはいくつかの理由があります。それは、従来のアレルゲン免疫療法ではアレルゲンの投与を皮下注射で行っていたため、長期間にわたって頻回に通院する必要があったこと、アナフィラキシーショックや喘息症状、蕁麻疹などの副作用が稀に生じることがあったこと、治療を行っても体質改善効果が得られない方が約3割程度いらしたことが挙げられます。

今回新たに承認された治療薬は、1日1回舌

の下にスギ花粉のエキスを滴下するものです(舌下免疫療法)。舌下免疫療法は自宅でも行えるため、従来の皮下注射法よりも通院回数を減らすことができ、患者さんの負担は軽減されます。



また、主な副作用は、投与部位である口の中の腫れやかゆみなどで、アナフィラキシーショックのような重大な副作用は皮下注射法よりも少ないと考えられています。ただし、スギ花粉が飛散している時期も含めて、少なくとも2年間は毎日継続する必要があります。舌下免疫療法と同じく根気のある治療法である点は変わりません。また、治療効果についても、残念ながら、皮下注射法と同様に全ての方に治療効果が期待できるわけではありません。

舌下免疫療法は、12歳以上で、一般的な抗アレルギー剤の治療では症状が改善しない方が対象となりますが、一部の高血圧治療薬(β阻害剤)を内服中の方、重症な喘息を合併している方、妊娠中の方などは対象外となります。また、舌下免疫療法を行う医師は講習会を受講し処方資格を得る必要があります。処方可能な医師のリストはネット上で公開される予定となっています。治療を希望される場合、まずは処方資格を持つ医師に相談し、十分な説明を受けてみてください。

診察時間が近づいたことをお知らせする

メールサービス
約30分前

ご利用ください。ご希望の方はメルアドを受付へ!!



急患随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	○	△ 3:00~4:00	休診

真崎耳鼻咽喉科医院

TEL.018-845-0234 FAX.018-847-1321 秋田市土崎港中央6-8-3